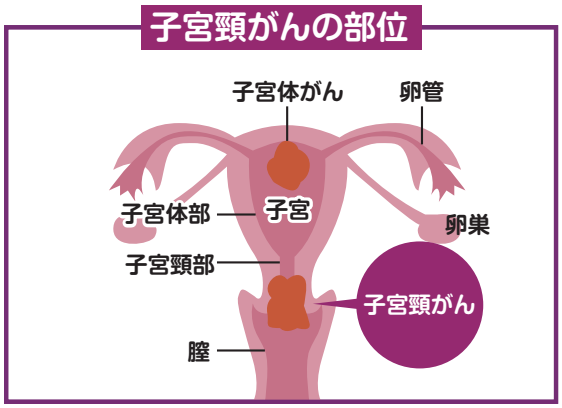
千葉県医師会 情報ファクトリー

「子宮頸(けい)がん」を正しく知ろう！

千葉県医師会 編集広報委員会副委員長　岩崎(いわさき) 秀昭(ひであき) 医師

▶子宮頸がんとは？

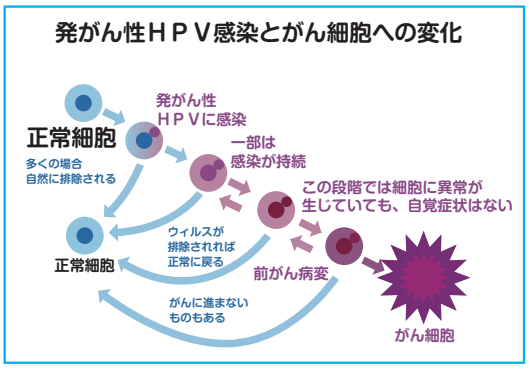
子宮頸がんとは子宮頸部に発生するがんで、近年若い女性に増えている病気です。



▶子宮頸がんの原因は？

子宮頸がんの発症にはヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が関与しています。

HPVは皮膚や粘膜に存在するウイルスで、現在100種類以上が存在していますが、そのうち子宮頸がんの原因となる発がん性HPVは15種類程あることが明らかにされています。発がん性HPVは多くの場合性行為によって感染するため、ほとんどの女性が一生に一度は感染する、ありふれたウイルスです。また発がん性HPVに感染しても子宮頸がんになるのはごく一部です。

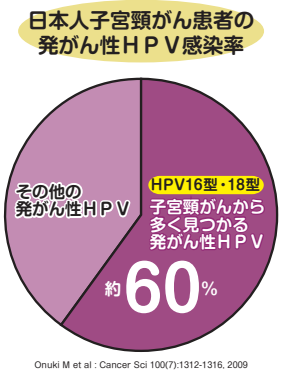


グラクソ・スミスクラインより提供

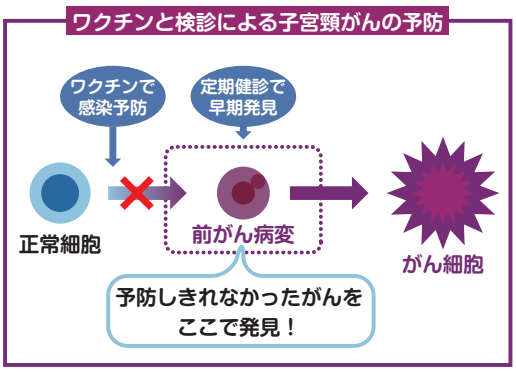
▶子宮頸がんを予防できるワクチンがあります

発がん性HPVのうち、多くみつかっているのは16型と18型です。この2種類は他の発がん性HPVと比べ子宮頸がんになりやすく、病気の約60%に見つかっています。

2009年12月、日本でもようやく子宮頸がんを予防するワクチンが発売されました(製造・販売：グラクソ・スミスクライン)。このワクチンは半年間に3回接種することで、16型、18型の感染に起因する子宮頸がん、前がん性病変の予防に寄与します。



Onuki M et al : Cancer Sci 100(7):1312-1316, 2009

▶子宮頸がん検診は欠かさずに

ワクチンを接種しても、全ての発がん性HPVの感染を予防できませんから、子宮頸がん検診は欠かせません。各自治体では、20歳以上の女性に対し、子宮頸がん検診を行っており、千葉県では検診車方式ないし産婦人科医院などでの個別検診になります。検診は子宮頸部より細胞を採取する細胞診でスクリーニングされます。ワクチンと検診で子宮頸がんを予防しましょう。